

令和7年度 第1回嘉麻市地域公共交通会議（要録）

1 日 時 令和7年5月29日（木）午前10時～

2 場 所 嘉麻市役所5階 5A会議室

3 出席者

所 属	氏 名	出 欠
嘉麻市 副市長	神代 昭彦 委員	
西鉄バス筑豊株式会社 取締役運行部長	浜田 和仁 委員	
福岡県筑豊地区タクシー協会 嘉飯山部会長	野上 英敏 委員	
一般社団法人福岡県バス協会 事務局次長	河津 隆幸 委員	
国土交通省九州運輸局福岡運輸支局 支局長	永松 靖二 委員 (代理) 辻 美貴善 様	代理出席 (辻運輸企画専門官)
福岡県交通運輸産業労働組合協議会 西鉄グループバス労働組合副執行委員長	熊本 正志 委員	
福岡県飯塚県土整備事務所 地域整備企画監	岸川 雄次 委員 (代理) 穂積 千絵 様	代理出席 (穂積地域整備主幹)
福岡県嘉麻警察署交通課 課長	大曲 善貴 委員 (代理) 植高 康太 様	
嘉麻市碓井地区行政区長会 上臼井行政区長	福田 修 委員	
嘉麻市山田地区行政区長会 会長 及びゆうひが丘行政区長	松岡 康則 委員	
嘉麻市嘉穂地区行政区長会 貞月行政区長	縄田 洋明 委員	欠席
嘉麻市稲築地区行政区長会 才田日吉行政区長	平井 由子 委員	
元福岡大学工学部社会デザイン工学科教授	井上 信昭 委員	
公募委員	平尾 節子 委員	欠席
公募委員	池田 幸子 委員	
嘉麻市観光まちづくり協会 副会長	中村 瑠梨 委員	欠席
嘉麻市教育委員会 教育委員	佐竹 正利 委員	

オブザーバー

国土交通省九州運輸局福岡運輸支局 運輸企画専門官（輸送担当）	辻 美貴善 様	
福岡県・企画地域振興部交通政策課 交通総務係	三重野 直美 様	欠席

（事務局）

交通政策課

交通政策課長	野川 由紀子	
交通政策係長	村上 里美	
交通政策係	伊藤 智洋	
交通政策係	村上 一馬	

1 委嘱書交付

机上にて委嘱書交付

(嘉麻市副市長「神代委員」、
一般社団法人福岡県バス協会「河津委員」、
国土交通省九州運輸局福岡運輸支局長「永松) 委員」、
福岡県飯塚県土整備事務所 地域整備企画監「岸川委員」
福岡県嘉麻警察署交通課 課長「大曲委員」、
嘉麻市観光まちづくり協会 副会長「中村委員」)

2 会長選出

会長：神代委員 一同承認

3 会長あいさつ

会長あいさつ

4 報 告

(1) 公共交通に関する実績報告事項について・・・・・・・・・・資料 1

《主な質疑及び意見等》

(委 員) 利用者数が年々増えているということだが、どの時間帯が多いのか。

(事務局) 一番多い時間帯は通学の時間帯であり、8 時前くらいの時間帯や下校の時間帯が多い状況。

(委 員) 路線バスは中型のバスを利用していると思うが、路線バスを見かけると一人二人しか乗っていない状況もあり、中型バスではなく小型のバスでもよいのではないか。

(事務局) 通学の時間帯には利用者が多く中型バスを利用する必要がある。今後の状況を見て、バスを購入する際には、バスのサイズについても検討していきたいと考えている。

(委 員) 嘉麻市地域公共交通計画の目標数値をすでに超えている項目については、計画の目標数値を見直す必要もあるのではないか。

(事務局) 今後検討していきたい。

(委 員) 実績の報告の際には、昨年度比だけではなく、嘉麻市地域公共交通計画の目標数値を達成できているのかどうかを確認するためにも、計画の目標数値についても併せて記載していただきたい。

ちなみに、利用者数については目標値を達成している状況なのか。

(事務局) 確認して次回の会議の際に報告させていただきたい。

(委 員) 1 ページの利用者数については、「通学時間帯の利用者の増加減少」という表現になっているが、通常は「通勤通学時間帯」という扱いが一般的だと思うが、ここで「通学」と限定しているのは、実態が通勤利用者がいなくて通学利用者だけなのでこういう表現になったのか。

(事務局) 利用者数の推移を令和 5 年度と比較したところ、嘉穂総合高校や志耕館高校の学校の利用者数が大幅に増加していた。また、桂川駅が通勤等で想定されるが、桂川駅については利用者数が大きく変わっていなかったことから、「通学時間帯」という表現とした。

(委 員) 2 ページのバスステーションの利用者数が順調に増えているということだが、テナント数は現在いくつで、当初から変わっていないのか、それともテナント数も変わったのか。

また、「その他」の項目の内容を教えてください。

(事務局) テナント数については、当初からフルーツサンドの店舗がテナントとして入っており、テナント数は変わっていない。

「その他」の項目については、バスステーションの中に展示スペースがあり、その見学者等の人数を記載している。

(委員) 4 ページでタイトルが「高齢者交通支援証明書、グランドパス 65・75 購入補助」となっているが、下方のグランドパスの数値データの表記は「グランドパス 65」と限定しているが、これでよいのか。

(事務局) タイトルと同じく下方のグランドパスの数値データは「グランドパス 65・75」の数値であり、表記の誤り。

5 議 事

(1) 令和 6 年度歳入歳出決算について・・・・・・・・・・資料 2

(委員) 質疑、意見等なし。

一同承認

(2) 令和 7 年度嘉麻市地域公共交通会議予算案について

・・・・・・・・・・資料 3、資料 3－1

《主な質疑及び意見等》

(委員) 2 ページ目、上屋の設置見込数が 3～4 箇所、右側の一覧表に 7 箇所あるが、この表の中から 2～3 箇所ということか。また、どこから設置するかも考えているのか。

(事務局) 2 ページ右側の一覧表は商業施設付近のバス停であり、1 つのバス停で上下線に設置する場合は 2 箇所という考え方になる。また、この候補地の中から設置可能な場所を選定していくことになる。

(委員) 資料 3 (差替分) の予算案について、歳入歳出とも前年度に当初予算の数値が入っているが、少なくとも前年度については実績があるので、実績値を入れ、それに対して本年度の予算案の数値を表示するものではないか。予算と予算を比較しても意味がないと思うが、官公庁の表記がこういうものなのか。

(会長) 市の議会で予算書を出す場合も、前年度の予算に対して今年度の予算というように、今回のような表記をしており、委員の言われるような点もあると思うが、行政が作成する予算書と同じ形式で事務局が作成している。

(委員) 資料 3－1 の 6 ページで、上屋設置見込数について、「2 カ所程度が該当し、2 か年の年次計画で設置予定」ということだが、今年度はバス停 1 箇所分を設置するということで、予算にある工事請負金額 145 万 8 千円というのは 1 箇所分の金額という考えでよいのか。

(事務局) 今年度については、2 基の上屋を設置予定。その 2 基が同じバス停の上下線につけるのか、別々のバス停に 1 基ずつつけるのか、場所の選定を行ったうえで決定していきたい。

(委員) その他質疑、意見等なし。

一同承認

(3) 令和 7 年度バリアフリー化設備等整備事業交付申請について

・・・・・・・・・・資料 4、資料 4－1、資料 4－2、資料 4－3

《主な質疑及び意見等》

(委員) 資料 4－3 の 5 番「バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額」だが、総事業費が 132 万 5 千円となっているが、これは令和 7

